

平成19年度 事務事業評価表			担当	産業環境部 産業振興課	内線等	1232
事務事業名	農地・水・環境保全向上対策事業			事業コード	1. 一般事務事業（ソト事業）	
根拠法令等	経営所得安定対策等大綱、 農地・水・環境保全向上対策実施要綱			Dその他		

総合計画での位置付け

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	農林業
------	---------------------	-----	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	農業者に限らず地域住民にも参加を促し
手 段	補助金を支出し、道の草刈や水路の清掃、花の植栽等の活動を通し
想定する成果	地域に存する農地・農業用水等の資源や農村環境の良好な保全と質的向上を図る。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
市の負担金	-	413千円	413千円
総事業費	-	1,652千円	1,652千円
地区数	-	3地区	3地区
対象面積	-	59ha	59ha

成果指標

成果指標名	活動人数	遊休農地等の活用面積
成果指標の説明	活動人数	遊休農地等の活用面積

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標						848人				900人			
成果指標						2,350m ²				5,000m ²			
事業費	事業費	0				1,652				1,652			
	人件費	0				4,686				4,707			
	(人数)	正規		非常勤		正規	0.6	非常勤	0.0	正規	0.6	非常勤	0.0
	合計	0				6,338				6,359			
財源内訳	国					826				826			
	県					413				413			
	市債												
	その他												
	一般財源	0				5,099				5,120			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	-	2	-	活動計画に基づき、一定基準をクリアできた。
経済効率性	2	-	2	-	地元要望の市単独工事の質の変化および費用の減少等が窺える。
事務効率性	2	-	1	-	初年度ということで手探り状態であったが、地元の協力を得て遂行できた。
必要性	2	-	2	-	市だけに頼るのではなく、地域の資源は地域みんなで守るという意識づくりは必要である。
小計	8	0	7	0	
施策への貢献度	2	-	2	-	事業終了後も継続できる礎を築き、農家の高齢化、後継者不足等の対応の一翼を担い、地域の環境保全の向上に努める。
合計	10	0	9	0	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	-	B	-	初年度において、概ね計画どおりに活動はできたが、今後、農家以外の参加者を増やしたい。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
上記改善点の実施状況

今後さらに改善すべき点

実践活動をとおり、市民の理解と普及を図り、施行箇所、面積の拡大を促進すべきである。また、この活動が地域独自で継続できるよう誘導する。

平成21年度予算に反映する項目

基準のとおり(畑:2,800円/10a)

今後の方向性

拡大、充実

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

